

30人教室扇風機1台 外は40度校内入っても...

都道府県間で格差

公立小・中学校 エアコン設置率

記録的な猛暑のなか、学校の授業や行事の最中に熱中症などで倒れる子どもたちが相次ぎ、学校の暑さ対策が問題になって...

(仁田桃)

だけ(18日)などと投稿。批判が続出しています。

日本共産党千葉市議団は「突然、共産党を引き合いに出し、エアコンを設置しない理由にしようとするのは容認できない」として市長に抗議しました。

文科科学省の調査で 福井県86.5%と続きまは、公立の小・中学校の普通教室のエアコン設置率は約5割です(2017年4月1日現在)。

「市の教育予算が多いわけではない一方で、駅前再開発などには税金を投入しています。子どもの命と健康を守るため、教育予算を増やし、一刻も早くエアコン設置を決定し実施するよう求めます」と話します。

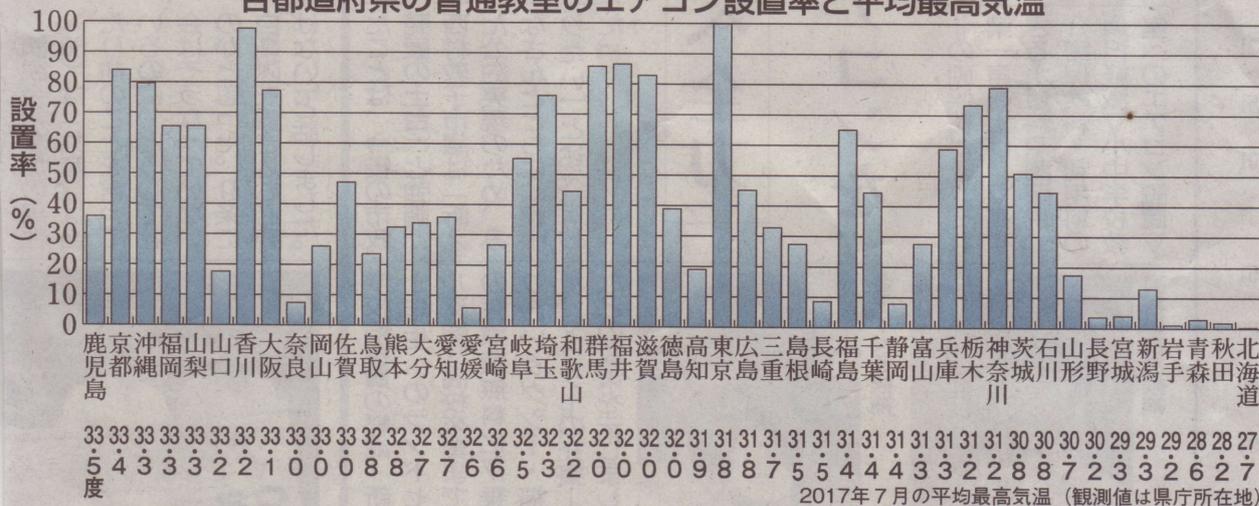
千葉市は0% 一日も早い導入を

機が1台あるのみ。暑さで同級生が吐いたり、早退したりしているといまです。運動場の気温が40度を観測し、外へ出て遊ばないよう校内放送が入ったこともありました。

谷川さんは「命に直結する問題です。給食時間の教室の気温が35.8度になったこともあり、食欲がわかない子もいます。教室の適正気温が28度らしいのですが、ほど遠いですよね」と訴えます。

「安全な場所であるべき学校で、今日は暑いけど、子どもたちは大丈夫かな」と心配することがあって良いのか。一日も早く、心配のいらぬ学校にして」

各都道府県の普通教室のエアコン設置率と平均最高気温



2017年7月の平均最高気温(観測値は県庁所在地)